

### 2020年度夏季手当低額回答に対する職場からの声!

～会社は現場の率直な意見を真摯に受け止めるべきだ～

会社は、2020年度夏季手当について実質2.3か月、コロナ禍における労働と今後の施策への期待として0.1か月、更にテレワークや自宅待機などの新たなワークスタイル・ライフスタイルに対する還元として5,000円を追加する回答を示しました。これは、1987年と88年の2.1ヶ月、89年の2.3ヶ月、90年と91年の2.4ヶ月という30年前の会社発足当時に匹敵するほどの超低額回答です。ここまでのJR東日本会社を築き上げてきたのは、紛れもなく多くの先輩たちをはじめ、現場第一線で働く全ての組合員、社員であることは言うまでもありません。しかし、今回の夏季手当の会社回答は、コロナ禍において今までにない不安と緊張の中、インフラ産業としての社会的使命を全うしてきた現場労働者にしっかりと報いたのでしょうか。それは、職場から出されている声が否定的な現実として全てを物語っているので紹介します。

- 低すぎる、少なすぎる、最悪だ、啞然とした、呆れる、ショック、がっかり、納得がいかない  
残念だ、驚きが隠せない、あんまりだ、エーッ!?!、はっ!?!
- おかしい、ふざけている、ひどい、冗談じゃない、許されない回答だ、怒りが湧く、腹が立つ、不満が増える、血も涙もない
- もっと出ると思っていた、期待して損した、これで大いに期待している?!馬鹿にしているのか  
苦勞に報いてこの数字なのか、俺たちのがんばりはこれだけなのか、現場のことを何も考えていない  
社員への感謝が小さすぎる、厳しいと言えはなんでもいいのか
- 危険率が高いのは現場で働いている社員ではないか、現場が大変な思いをしていたのに反映されない  
リスクが高い中、今まで通りの仕事をさせておいてボーナス減らすとか笑うしかない
- 西や東海よりも低いとはもはや笑うしかない、せめてJR他社よりは出してほしかった。プラス5,000円って何?!せめて論吉でしょ!

※なお、これらの表現は出された意見をそのまま引用しています

- 意欲がなくなる、モチベーションが上がらない、これで頑張ろうって気持ちにはなれない、働く意味がわからなくなってきた、こんな会社ならやめようかな……、この先は不安しかない
- 役員報酬が10%カットで社員は約20%減なんて有り得ない、仕事量も働く意欲も2割減になる
- 施策に対して協力してきたのが馬鹿みたい、施策ばかりで仕事もきつくなり割に合わない、好き勝手に効率化して何も還元しない、コロナを理由に業務改悪と言いジョブローテーションなどの不要不急な施策は推し進めている現状に疑問しかない、これでは夢やキャリアビジョンなんて描けない
- ローンを抱える中で厳しい、生活やローンもある中で年末手当の見解も示してほしかった、冬はもっと厳しくなるだろう……、年末手当はもっとやばい、冬も期待できない
- 社員を大切にしない会社の姿勢がはっきりした、経営陣は俺たちの事を全く考えていない、点呼で駅長が『思った以上に出了』と言ったが何を言っているんだと思った、今の会社はやりたい放題、汚い会社だ、会社はいつも出さない理由しか言っていない、会社が社員に対してどう思っているのかを逆にハッキリさせるいい機会になった

これで働きがいがあると思いますか?これで安心して働ける環境と言えますか?  
現場の悲痛な叫びが会社経営陣に届きますように!